

事業報告書

事業ID： 2015247586

事業名： 宮古港開港400周年記念事業の実施（海の日サポート）

団体名： 宮古港開港400周年記念事業実行委員会

代表者名： 会長 山本 正徳

TEL： 0193-68-9093

FAX： 0193-63-9120

■事業目的

2011. 3. 11に発生した「東日本大震災」により被災した宮古市の復旧から復興の現状を、市民と協働して情報発信するとともに、活力のあるまちへと復興させていくため、宮古港開港400周年記念事業を円滑かつ積極的に実施する。

■事業内容：

1. 磯の生物展

(1) 日時：7月10日～8月23日

(2) 場所：水産科学館

(3) 内容：魚鑑賞、絵画コンクール等

(4) 参加者数：開催期間入場者延 5,743人、絵画コンクール応募者 326人

2. 森・川・海体験交流

(1) 日時：7月28日～29日、8月8日～9日

(2) 場所：田老地区、浄土ヶ浜、宮古湾等

(3) 内容：青森県黒石市、東京都品川区、宮古市の小学生及び保護者等の教育旅行プログラム（シーカヤック体験、津波防災等）

(4) 参加者数：

青森県黒石市 小学生44人、保護者等 6人

東京都品川区 小学生35人、保護者等32人

宮古市 小学生17人、保護者等14人 関係者 33人

計 小学生96人、保護者等52人 合計 148人（関係者含み181人）

3. 海辺イベント

A. 「海の日」宮古港カッターレース

(1) 日時：7月19日

(2) 場所：宮古魚市場前

(3) 内容：9mカッターを使用するレース

(4) 参加者数：参加33チーム、参加者延べ600人

B. 宮古港ボート天国

- (1) 日時：8月9日
- (2) 場所：宮古港（リアスハーバー宮古）
- (3) 内容：シーサイクル、スタンディングアップパドルボート、ヨット、
プレジャーボート等の乗船体験
- (4) 参加者数：体験者延べ 1,400人

その他に7～9月の期間中、独立行政法人航海訓練所の帆船「日本丸」をはじめ多くの船が寄港し、一般公開等が行われたほか、国際交流ジュニアヨットクラブ競技会2015in宮古も開催された。

事業目標の達成状況：

市内外の小中学生や家族連れ等多くの方々に参加し、海の大切さ・重要性の認識、「海の日」の周知・啓発、小中学生の興味喚起など、当初の目的が達成された。

また、地元の岩手県立宮古水産高等学校、国立宮古海上技術短期大学のほか、国立館山海上技術学校、国立小樽海上技術学校、東京海洋大学の学生の事業参加を通じて、海洋人材の育成を支援することができた。

東日本大震災により被災した宮古市の復興状況やこれまでの支援に対する感謝を、各イベントへの来場者をはじめ、新聞報道等を通じて全国に情報発信することができた。

事業成果物：

1. ポスター、パンフレット、調査報告書などの印刷物
なし

2. イベント等の写真

- (1) 磯の生物展
- (2) 森・川・海体験交流
- (3) -A 宮古港カッターレース
- (3) -B 宮古港ボート天国

3. 機器等の写真

- (1) 磯の生物展…缶バッジ(宮古港開港400周年記念缶バッジ「海の日」記念版)×6,400個
- (2) 森・川・海体験交流 …磯体験用水槽×1
- (3) -A 宮古港カッターレース …購入機器なし
- (4) -B 宮古港ボート天国 …①シーサイクル×1
…②スタンディングパドルボート×5